

～さがそうみらいプロジェクト～

# キャリア教育だより

発行元：相模原市教育委員会キャリア教育推進チーム / 令和6年10月発行 No.2



相模原市では、「共に認め合い、現在と未来を創る人」を目指す人間像としています。この言葉に込められた思いは次に示すとおりです。このような理由から、「自己肯定感」や「夢や目標をもっていること」のアンケート項目に着目し、児童生徒の状況を把握しています。



## 「共に認め合い」

今後どのような時代になっても、一人ひとりが自分らしく輝き、多様な人々が共に生きるためには、まず自分の良いところや可能性に気づき、更には短所を含めて自分自身だと認めることが大切。自分を認めることを通じて、自分以外の人にもそれぞれ良いところなどがあり、多様な人々がいることを理解し、皆が共に認め合い、つながり、支え合えるようになってほしい。

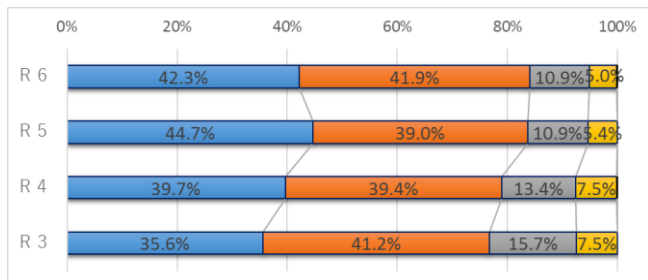
## 「<sup>いま</sup>現在と未来を創る」

予測困難な時代であっても豊かな人生を送るためには、自ら学びに向かい、広く想像し、深く思考して主体的に行動するとともに、多様な人々が積極的にかかわり、高め合いながら、新たな価値を生み出すことが求められている。こうしたことを通じ、誰もが心豊かに生き生きと活躍し続けられる現在を創るとともに、人間ならではの感性を働かせ、先端技術を駆使しながら持続可能な未来を創ってほしい。

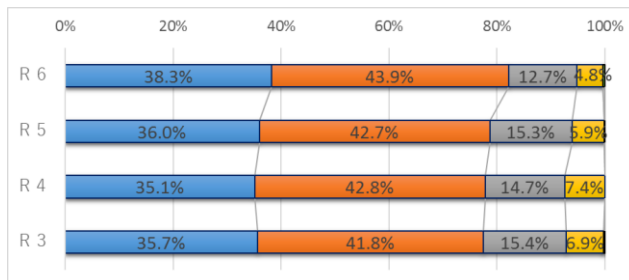
Q 自分には、よいところがあると思いますか。

※ R3～R6 全国学力・学習状況調査による質問調査における本市の状況

肯定的に回答した小6児童の割合 84.2%



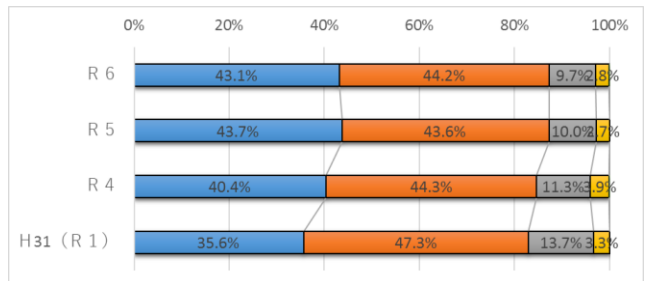
肯定的に回答した中3生徒の割合 82.2%



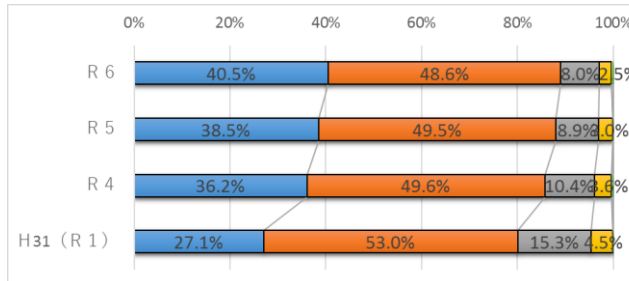
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答

Q 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

肯定的に回答した小6児童の割合 87.3%



肯定的に回答した中3生徒の割合 89.1%



■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答

「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合は年々増加するとともに、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」に肯定的に回答する児童生徒の割合も年々伸びています。

日頃の学校生活において、先生方が子どもたちのよさを認め、励ましながら教育活動に臨んでいくことが、アンケートの結果から分かりますね。



# 子どもたちの生活習慣は大丈夫??

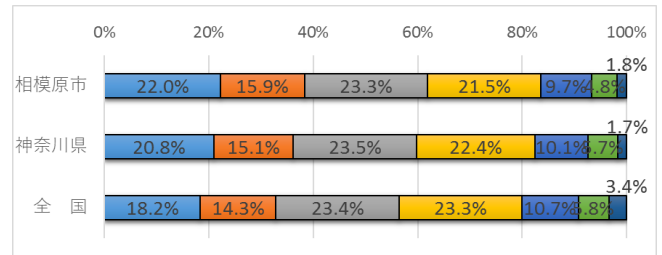
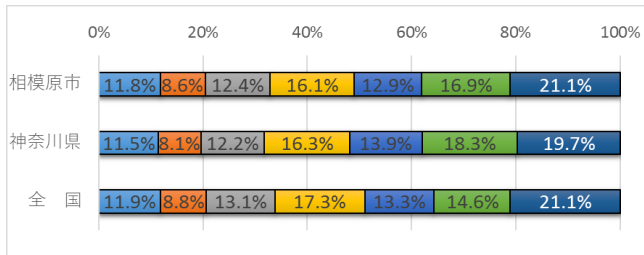


未来を切り拓く力を付けていくためには、日々の生活を整え、毎日の学習を大切に、一日一日を積み重ねていくことが重要です。しかしながら、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問調査において、少し心配になる生活の様子が見えてきました。

Q 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。

2時間以上と回答した小6児童の割合 32.8%

2時間以上と回答した中3生徒の割合 61.2%

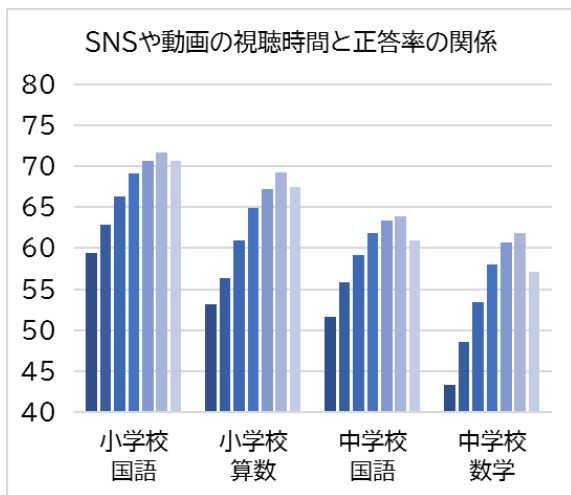


■ 4時間以上 ■ 3時間以上、4時間より少ない ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない ■ 30分以上、1時間より少ない  
■ 30分より少ない ■ 持っていない ■ その他 ■ 無回答

携帯電話やスマートフォンで動画視聴などをする時間と学力に、一定の関係があることが全国学力・学習状況調査の結果からわかってきています。次の資料を見てみましょう。



児童〔6〕 生徒〔6〕 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。



クロス集計の結果を見ると、動画の視聴時間が長くなるほど、国語、算数・数学の平均得点ともに低くなっていますね。

そのような傾向があるといえそうですね。また、1日当たり2時間以上、動画視聴をすると回答した児童の割合は32.8%、生徒の割合は61.2%となっています。家庭での過ごし方について、見直しを図る必要がありそうですね。



家庭での生活については、学校では管理できないから、教員にできることは、子どもたちに呼びかけることくらいですよ？

本年度、相模原市PTA連絡協議会に校長会の代表や指導主事が参加し、生活習慣、学習習慣の見直しに向けた話し合いが行われました。子どもたちの生活・学習習慣をよりよいものにしていくためには、家庭や地域の方々との協力が不可欠です。保護者の方と話す機会があれば、ぜひ話題にしてください。

